

# 当面の経済政策

田中 修

## はじめに

4月17日、李克強総理は国務院常務会議を開催し、1-3月期の経済情勢を分析するとともに、当面の政策を検討・手配した。また、これに先立ち、4月14日には経済情勢専門家・企業責任者座談会を開催している。本稿では、この2つの会議の概要を紹介したい。

### 1. 国務院常務会議（4月17日）

4月17日、李克強総理は国務院常務会議を開催し、1-3月期の経済情勢を分析するとともに、当面の政策を検討・手配した(新華網北京電2013年4月17日)。

#### (1) 情勢判断

1-3月期の国民経済の運営は平穏で、総体として良好であり、経済成長率・都市新規就業増等の主要指標は合理的な区間に安定している。現在、わが国は工業化・都市化の重要な段階にあり、経済の転換・グレードアップはカギとなる時期にあり、発展には巨大な潜在力・余地がある。

しかし、直面する内外環境は十分複雑であり、平穏な運営と隠れた憂い・リスクが併存しており、発展を制約する矛盾が不断に顕在化している<sup>1</sup>。分析・検討・判断を更に強化し、法則性を把握し、予見性を増強し、真実を求め実務に励み、仕事を着実にしっかりこなし、経済政策の主動権をしっかり掌握しなければならない。

#### (2) マクロ経済政策の基本方針

マクロ経済政策の連続性・安定性を維持し、積極的財政政策と穏健な金融政策を引き続き実施し、うまく活用し、政策的確性を増強し、安定成長・インフレ抑制・リスク防止を統一的に企画・考慮しなければならない。

同時に、更に大きな力を込めて改革のボーナスを配当し、構造調整を強化し、企業と市場の活力を奮い立たせる。安定の中に前進を求め、雇用と所得を増やし、質と効率を高め、省エネ・環境保護を強化し、中国経済のグレードアップ版を作り上げるため努力する。

#### (3) 当面の重点政策

##### ①国内の有効需要を積極的に拡大する

消費政策を整備し、個人の消費能力を高め、サービス業を大いに発展させる。情報消費・医療・老人ケア・文化等の新たな消費スポットを開発・育成し、消費の牽引作用を増強す

---

<sup>1</sup> ゴチックは筆者。

る。

合理的な投資規模を維持し、都市の道路・軌道交通・環境保護インフラ等の方面の建設を強化する。科学技術イノベーションを推進し、落后した生産能力の淘汰を加速し、先進的な生産能力の市場空間を拡大する。

## ②農業の基礎を打ち固める

有効な供給を増やす。農業支援資金ができるだけ速く交付され、全額が現金で手元に渡ることを確保する。自然災害の影響に確実に対応し、夏季の穀物・食用油の生産と春蒔きの耕作準備をしっかりと行う。適度な規模の経営を通じて、農業の転換・発展を促進する。

貧困扶助の堅墨攻略を強化し、広域にわたって集中的に存在する特別困窮地区の発展能力を引き上げる。現地の事情に合わせて適切に措置を採用し、動物の疫病が養殖業に与えるダメージを軽減する。

主食安定供給の省長責任制と副食品安定供給の市長責任制をハードに細分化し、市場の需給と物価総水準の基本的安定を維持する。

## ③民生の保障・改善に力を入れる

大学卒業生等の重点対象の就業対策をしっかりと行い、多様なルートで雇用を拡大し、創業を支援し、個人所得を増やす。

社会保障体系を整備し、年金・医療等の方面の大衆の後顧の憂いを段階的に取り除く。

貧困家庭の学生への資金援助政策を実施する。社会保障的性格をもつ住宅の建設任務実施を加速し、質と公平な分配を確保する。

H7N9 型鳥インフルエンザの防御を引き続きしっかりと行い、連携して防御するメカニズムを強化し、的確性・実効性を高め、救済・治療費用が行き渡ることを確保し、患者が遅滞なく救済・治療を受けられることを保証する。

## ④改革開放を深化させる

行政審査・許認可項目を早急に整理・取消・調整し、かつ社会に公開して、民間投資と社会の創業の情熱を奮い立たせる。

財政・税制と資源性産品価格の改革を深化させ、金利の市場化と人民元資本項目の自由化を積極かつ穏当に推進する。

開放とりわけサービス業の開放を更に拡大し、開放により改革・発展を促す。

## ⑤地方政府の債務・貸出等の方面に存在するリスクを有効に防止する

市場の監督管理を強化し、商品・サービスの質を高める。

## 2. 経済情勢専門家・企業責任者座談会（4月14日）

座談会では大学・研究機関等の専門家・学者が現在の内外マクロ経済情勢と中国の貿易・金融・不動産等の運営状況について見方を述べ、家電・紡績・エネルギー・機械製造等の分野の企業責任者が現在の市場の変化と企業の経営状況を語った。

政府側は、李克強総理のほか、張高麗・劉延東・汪洋・馬凱各副総理、楊晶・王勇各国

務委員が参加し、李克強総理が次のように発言した。

今年に入り、わが国の経済運営は総体として平穩にスタートしており、これは各方面の予期を安定させることに資するものである。同時に、内外環境には不安定・不確定要因が依然かなり多く、深層レベルの矛盾が不斷に顕在化し、情勢が相当複雑であることをも見て取らねばならない。

経済動向の把握に際しては、頻繁で複雑な変化の中に法則的・傾向的なものをうまく見つけ出さなければならない。これは経済の持続的で健全な発展にとって極めて重要である。予見性があれば、企業・社会は更に合理的に資源を配分し、適時意思決定を行うことができる。政府も胸に成算をもち、策を定めてから動き、転ばぬ先の杖で、治にあつて乱を思ふことができるだけでなく、変化に驚かず、タイムリーに落ち着いて対応することができるのである。

マクロ政策を把握するに際しては、足元をしっかりと固めるだけでなく、グレードアップに着眼しなければならない。わが国経済の発展は「坂を上り峠を越える」カギとなる段階にあり、長期と短期を結びつけ、短期の問題に有効に対応し経済の合理的な成長速度を維持すると同時に、発展の質・効率の向上を更に重視し、更に多くの力を経済の転換・グレードアップ、雇用の拡大・個人の所得増加に向けなければならない。打ち出す1つ1つの政策は、現在の問題を解決するための的確性を有するだけでなく、長期の発展のための「基礎を固める」ものでなければならず、中国経済の「グレードアップ版」を作り上げるよう努力しなければならない。

改革の深化に依拠して、発展の持続力を増強しなければならない。中国経済がアンバランス・不協調・持続不可能であるという深層レベルの矛盾に対しては、症状に合わせて投薬しなければならない。1つ1つの処方箋は、対症療法だけでなく、根本を治癒できるものでなければならない。それには根本的に言えば、やはり改革に依拠せねばならず、改革を通じて基盤を固め、経済発展の勢いを強めなければならない。臨時的な措置を打ち出す場合であっても、今後の市場化改革の推進と発展のために障害を設けることのないよう注意しなければならない。長期に有効で、発展の持続力増強に役立つような制度的手配の形成を重視し、改革のボーナスを不斷に配当し、経済の長期にわたり持続的で健全な発展を促進しなければならない。

専門家・学者が引き続き専門知識を発揮し、政府に建言・献策を行い、社会に向けて疑念を解消し、改革の深化・グレードアップの推進に資する社会環境の形成を共同で促進することを希望する。

(4月19日記)